



伊豆市

No.38

# 議会だより

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会報編集委員会  
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 2013.11.1発行



運動会 (こども園あゆのさと)

当日は、あいにくの天気でしたが、小雨の降る中、0歳児から年長さんまで元気いっぱい日ごろの練習の成果を出し切りました。

## 目次 CONTENTS

- 9月定例会の概要 ..... 2
- 一般質問・第3回臨時会 ..... 9
- 12月定例会の予定・意見書 ..... 14

# 一般会計の歳出総額は、 155億446万円でした。

## 平成24年度各会計決算総括表

会計	歳入	歳出	差引き額	
一般会計	168億4,289万円	155億446万円	13億3,843万円	
特別会計・企業会計	公共用地取得事業	187万円	167万円	20万円
	国民健康保険	50億4,913万円	47億6,171万円	2億8,742万円
	後期高齢者医療	3億5,792万円	3億4,857万円	935万円
	介護保険	29億5,449万円	29億3,545万円	1,904万円
	簡易水道事業	2億9,288万円	2億5,013万円	4,275万円
	下水道事業	19億8,397万円	19億2,199万円	6,198万円
	農業集落排水事業	1億3,252万円	1億1,968万円	1,284万円
	財産区（7財産区）	5,046万円	1,732万円	3,314万円
	上水道事業	7億5,682万円	5億195万円	2億5,487万円
	温泉事業	8,727万円	6,711万円	2,016万円

平成24年度決算の認定

各常任委員会の決算審査では  
次のような質疑がありました

### ◆一般会計歳入歳出決算認定

**問** 滞納者の電話催告業務委託料の効果について、どうだったのか。

**答** 電話催告は、派遣会社の2人が、週4日6時間ずつ、木曜は午後7時まで、月1回は日曜日にも催告の電話を全部で6000件くらいかけています。督促状の発行前に納付のお願いを電話するのが主な内容です。また、口座振替で引き落とせなかった方や、分割納付の誓約が守られない方などにも電話をかけています。主に現年度の滞納について、電話をかけるので、その結果が、現年度の徴収率を上げたものと考えられます。

**問** 病児・病後児保育事業の中の、あゆのさとの病後児保育38人の利用に対する補助金について説明を。

**答** 病後児保育のためにスペースを確保し、看護師を雇います。費用は掛かりますが、国の補助事業がありますので、最低200万円

と子供1人に対する基準額があり、245万5千円となります。3分の2は国庫補助となります。



▲あゆのさとの病後児保育室

**問** 教育費の不用額1億1千万円という数字は、多いのかどうか。不用額の内容について説明を。

**答** 学校再編の工事請負費が狩野小学校の増改築で見込んだ予算額から最終的な実施計画の段階で約1800万円の減額となりました。備品購入費も、廃校する学校の備品利用により約600万円減額となり大きな不用額となっています。

**問** 修善寺駅周辺整備事業について、現在までに工事が進められていますか、駅前の方たちは、民間として、町並みや後継者育成、完

成後の整備計画など、地域住民ならではの決定している事項などはあるか。

**答** 特に、まちづくりについては、修善寺駅周辺整備の利用者検討委員会と言うものがあり、平成27年度の完成に向けて、ワークショップを進め、主にソフト面での検討が進められました。

**問** 肉販売収入について、やはり売れた肉というのは、どのような部位の肉でしょうか。比率はどのくらいか。

**答** 現在、食肉加工センターで販売しております肉については、鹿ロース、もも、こま、ひき肉、はぎれ肉、また、猪についても、ロース、ばら、ももと品目ごとに販売しておりますが、やはり精肉店等により、利用頻度の高いものを主に販売していただいていることから、販売金額で700万円弱でございます。また、生産された加工肉の販売は81パーセントにとどまっております。

**問** 伊豆市新特産品開発事業補助金42万円について、どういう団体が、どういうものを手がけて、ど

ういう実績があったのか、また、どういう見通しが出てきたのか事業内容を教えていただきたい。

**答** 平成24年度の実績を申し上げますと、2つの団体で、1つは、土肥上野地区の営農管理組合です。ブルーベリーを栽培して、収穫体験、または加工品にする事業で45万円の事業費に30万円の補助金を支出しております。もう1つは、湯ヶ島地区の茅野塾が行っております、遊休農地における大豆栽培で、大豆を豆腐に加工し、おからの出ない製法で大豆を丸ごと加工品として販売できる事業として取り組んでおります。18万4千円の事業費に12万円の補助をしております。

◆介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

**問** 介護保険料が年金から徴収できない方の保険料徴収で、発生している滞納の内容について説明を。

**答** 近年、年金を担保でお金を借りる方がいます。その方の場合、介護保険料は普通徴収により納付いただきますが、その方々の中で滞納される方が増えてきています。

討 論

◆一般会計歳入歳出決算認定

反対討論

●広域処理施設整備事業の生活環境影響調査業務負担金。スポーツワールド跡地に何年も固執し、環境アセスメント調査を平成23年度・24年度に調査を強行したわけであります。そして合計1200万円の調査委託料を支出したわけであります。建設地が未定、処理方式は未定、これでどうやって環境アセス調査ができるのか。しかし、調査報告書ができましたが、これはただの紙くずと同じ。大金をどぶに捨てたようなものであります。先の見通しが全くできていなかった、まさに大甘であったわけであります。

●食肉加工センター管理運営事業は年間1695万円の大赤字であります。市長は鹿の被害をなくすために、この加工センターをつくるんだと大見栄をきっておったわけです。しかしながら、最近では特にひどく、鹿は人里のすぐ近くまで出没して農業被害は一向に減

る気配を見せておりません。このように大赤字を垂れ流し、費用対効果のバランスの全く悪い事業は1日も早く終了することが市民の利益にかなうところであります。

●天城会館指定管理料の2380万5千円については、第1委員会で専門的な審査がなされたはずなのに、指定管理について、入場者数以外は何1つ明らかにされておられません。この指定管理料はどうやって算定したのでしょうか。まさか、市当局はこれらの内容・金額をつかんでいなくて相手に請求されるがままに支払っていたのではないか。もしも、そのようなことがあったとすれば、これは正に犯罪行為であるといわざるを得ません。

●し尿処理施設建設事業は疑惑で真つ黒だ。業者がこれは機密事項だから出さないでくれと、見せないでくれと、市民には知らせないでくれと、言ったなら、それは文書で残すべきである。官製談合の疑惑を是非、払拭してもらいたい。中身がさっぱり説明できないのが、天城会館管理事業4372万

円。使い道がさっぱり分からない。4000万円を使って、利用客が2万人だ。効率のいいお金の使い方とはいえませんがね。

天城ふるさと広場管理事業の借地料695万円、菊地市長になってから借地料が1.5倍にも増えている。

修善寺駅周辺整備事業、9102万円。修善寺駅の全容が見てきました。あれを見て、「何だこれは」というのが実感です。あれで伊豆市が発展すると思いますか。人口減少がとまりますか。駅周辺の商業の発展はみえるでしょうか。観光客が溢れるでしょうか。明るい見通しはありません。無駄遣いというよりもこれから伊豆市はあの駅舎の維持管理で、悲鳴を上げるのではないかと。

トレイルランニングレース。伊豆山稜線は国立公園の中にあり、歩くところなんですよ。走るところではありません。そういう認識がまったく無い。

産業経済アドバイザーは成果がみえない。成果の無い・見えないのが決算書です。市民の税金を無駄に使っている。疑惑に満ちた決

算書です。

●平成24年度を振り返ってみて、市民の暮らしはどうだったか。市民税は大幅に減少した決算となり、市民の暮らし向きは、平成23年度よりも悪くなったという事は客観的状況ではないか。この状況のもと、暮らしの応援をどのようにしましたかとお尋ねをしましたが、お答え無しでありました。深刻になった市民への応援の無い取り組みだったということであり

ます。伊豆市の最大の課題は人口減少問題であります。平成24年度の新規事業の病児・病後児保育、及び通院・入院費用を付与する対象年齢を中学校卒業するまで引き上げる取り組みは何ら否定するものではありません。伊豆市は人口を増やすんだ。子供を増やすんだ。という取り組みを是非ともやっていただきたい。子育てのつらさの最大の課題は、子育て・教育にお金がかかることとあります。市の計画にも子育ての経済的負担を軽減することを掲げていますが、今年度も残念ながら極めて不十分であります。

す。少子化に歯止めがかかりません。総力を上げて、人口増対策を中心的な課題として取り組んでいただきたい。

#### 賛成討論

●前年度比で歳入が3.9%、歳出は3.1%それぞれ増加していますが、し尿処理施設建設工事や清掃センターの改修工事、修善寺駅周辺整備事業といった公益性の高い大型事業が確実に進められた結果であると考えます。歳入では、固定資産税の評価替えによる減額と市税

の収入減少がありました。滞納の整理促進や財産収入の増など努力が見られます。歳出では、事業費が増加している一方で、人件費等の経費は削減されています。また、財政の健全性を示す各種の財政指数も伊豆市の財政が健全であることとを表していると判断するに足る数値であると考えます。

多くの事業の成果が上がっていることから平成24年度伊豆市一般会計歳入歳出決算は認定に値するものであると認め、賛成します。

●伊豆市汚泥再生処理センター建

設工事委託料ですが、これを予算にするときにどういう話し合いが十分なされてきたのか、ちょっと疑問を持ちますが、老朽化した伊豆市清掃センター処理施設と土肥衛生プラントを統合して、新しいし尿処理施設を建設するというところで、市民の生活に直接に密着する施設なので、一刻も早い完成を節に望んでおります。

焼却施設の大規模改修工事も、昭和61年より供用を開始してきた焼却施設ですので、これまで長い年月の使用により修繕を行わなければならぬことは当たり前のことと、特にここへ来て経年劣化により多くの関連機器及び設備に不具合が起きており、この度の大規模改修工事になったことと理解しております。したがって、新焼却施設が完成するまでは、この施設を使わなければならないので、この工事により一定の設備能力が維持されると理解しております。

税務関係では、平成24年度決算では8875万3千円の不納欠損処理を行っており、この金額については、市として収納、徴収する権利を消滅、放棄させることにな

ります。さらに社会保障制度への予算配分がふくらむ中で、実行可能な予算を確保するためにも市税徴収率のアップと滞納額の削減に向けて、一層効果的な施策を検討され、取り組まれるようお願いしたい。納税の公平性の観点から、安易に不納欠損として処分するのはなく今ある組織、地方税滞納整理機構及び税務課の徴収対策室を中心にして更なる徴収活動を進めて、徴収率の向上に努めていきたい。

病児及び病後児保育事業は、近隣には無い行政の事業であり、保育中に具合が悪くなっても、保護者に迎えの連絡をすることは無い。保護者としては非常に安心できるものじゃないかなと思います。また、感染症にかかった場合は、通常、1週間程は登園停止という措置がなされます。保護者も当然、仕事を休まなきゃならないんですが、病児保育をすることによって、仕事の調整がつきやすくなる。又は親子で仮に体調が悪くなった時も子供を預けることができ、保護者はゆっくり休養することができると、子育て支援の具体的な

方策だと考えております。

土肥こども園津波避難タワー建設工事ですが、土肥地区がもつ宿命である津波対策の一環でもあり防災減災に多いに効力を発揮するものと考えております。完成した後のあのタワーの使い方を調査しても十分活かしているものだなと感じております。

学校再編事業の天城地区小学校の再編成に要する経費2億2152万1千円。その中で、児童の安全確保という点では、若干積み残しをまだ残している事業があると判断します。しかしながら、生き生きと学ぶ子供たちの姿を見れば、再編成にかけたこの決算は十分に妥当性があると思います。中伊豆中学校体育館建設事業ですが、大変すばらしい屋内運動場だなと思えました。今後は生徒の大切な教育の場のみでなく、地域の生涯学習の拠点としてまた、中伊豆地区の防災関係の施設としても多いに期待されるものと考えております。



▲完成した中伊豆中学校屋内運動場

**25年度補正予算**

◆一般会計補正予算(第3回)

職員給与削減措置に伴う人件費の調整のほか、市内公的病院に対する救急医療体制の強化や安全・安心な医療提供確保のための支援1億1170万円、来年3月に東駿河湾環状道路が伊豆中央道に接続することとなることから修善寺温泉街での一方通行に対応した遊歩道整備など観光施設整備に6964万円、市道の舗装改良や市道南温泉場線改良などに6550万円、避難所用品整備など防災対策に1956万円など総額6億8472万2千円を増額するもの。

**平成25年度一般会計予算は、  
総額 163 億 790 万円  
となりました。**

◆国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

◆介護保険特別会計補正予算(第2回)

◆簡易水道事業特別会計補正予算(第1回)

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)

◆上水道事業会計補正予算(第2回)

◆温泉事業特別会計補正予算(第1回)

各特別会計の補正予算は、それぞれ給与削減措置に伴う人件費の調整を行ったもの。

## 各常任委員会の審査では

次のような質疑がありました

## ◆一般会計補正予算(第3回)

問 保健衛生費の市内公的病院等補助金について、内訳の確認と今回の補助目的について、説明を

答 伊豆赤十字病院が7914万8千円。中伊豆温泉病院が3256万円となります。救急病院に対する補助金の使用目的としては、限定されていません。

問 文化振興事業、井上靖資料室管理委託料で予定する委託先は

答 天城地区に井上靖ふるさと会という会員数48名のボランティア団体があります。そこに依頼する予定です。

## 討 論

## ◆一般会計補正予算(第3回)

## 反対討論

●公有財産管理事業の学校再編で廃校となった伊豆市内の5つの小

学校の不動産鑑定等を行うための費用は、先人たちが、営々として守り育ててきた小学校を金儲けのための企業にわざわざかばかりの金で売り飛ばす。こんなことがあっていいのか。市民の大切な財産、今は使い道があまり無くても、残しさえすれば災害時の避難場所にもなり、地域住民・区の支えにもなり、活用方法も将来出てくるものだと思っている。伊豆市の財産減耗・市民の利益損失に直結することとは間違いがありません。

●この予算で本当に伊豆市の活性化が見込めるのか。夢であってはいけない。現実に伊豆市の活性化が行われるかどうかなんです。

市政10周年記念事業、360万円。伊豆市のこの10年は衰退の歴史ですよ。

市道南温泉場改良工事、道路が良くなることは結構なことです。

しかし、同じ良くするのでも、歩行者に優しい道路をつくって下さい。どこへ行っても先進的な観光地は歩行者と車両は区別してあります。一方通行ってというのは、早い話が時代遅れ。

## 修善寺駅周辺整備事業、巨大な

ブロックの壁ができました。これあの周辺が発展すると思えますか。

学校再編事業、バス停を静岡県でつくってくれらると。大いに結構なことですよ。ところが、ほとんどの用地を市が借地する。これから取得しようとする土地は、借地ではなく購入をおすすめする。

## 賛成討論

●市内公的病院である日本赤十字病院と中伊豆温泉病院に対する救急医療体制の強化や安心な医療提供を確保するための支援補助は、少子高齢化が進む伊豆市では、医療関係の充実は不可欠です。

非常食の追加や飲料水として直ぐに飲むことのできるペットボトルの備蓄、八木沢地区防災倉庫の高台移転や津波避難路整備工事など住民の安全・安心にかかわる防災対策事業は、明日来るかもしれない大地震に備えた緊急を要する事業です。

来年3月に東駿河湾環状道路が伊豆中央道に接続し、観光客の増加が見込まれることから伊豆市の

玄関口である修善寺温泉街の一方通行化に対応した遊歩道の整備などの観光施設管理事業は、旅行客のニーズの多様化、旅行スタイルの変化に対応した魅力的な観光づくりを推進する一つとなります。以上、今回の補正は、市民の生活を守り、まちを活性化させる重要な案件である。

●今回の補正は、その多くが職員給与等の減額に伴う、関係科目の減額措置であり伊豆市職員等の身を切る改革これに感謝と敬意を表します。

また、金額の多い事業は、交付税・補助金措置のなされるものが多くあり、今後、伊豆市の振興・発展にとって、必要不可欠であると判断します。貴重な予算でありますので、行政当局の最大限、有効・効果的な執行をお願いしたい。

●教育費を見ました。天城小学校の児童のバスの乗り降りのための費用が、やっと予算計上されたのかなというのが率直な感想であります。今後の教訓に、時差がないように、子供達が、安心して帰れ

るような状況・環境づくりをやっていたらいいというように思います。整備されたバス停がないために、現場の先生方は、放課後になりますと、ずっとバスに乗るまで見守っていたんですが、そういう苦労をかけないような予算措置がやっとなってきたのかなと思います。

二つのことを要求します。

①旧大東小学校など廃校になった施設の土地建物の鑑定委託料について、売却もしくは賃貸の場合の価格の基準が必要ではないかなと思っております。しかし、避難場所である体育館が売るか貸すかという範囲の中に入っている。避難場所をどうするのかという課題を十分検討していただきたいと思えます。旧湯ヶ島小学校については、地域の皆さんと跡地利用の話はまだできていないわけですから、地元の了解なしに、不動産鑑定が動くということがないように順序をきちんと守りながら進めていただきたい。

②旧営林署施設解体工事については、平成22年11月、湯ヶ島財産区と市と結んだ覚書には、市長が利

用価値があるのではないかと考えて、今回の取り壊しに入っていない旧森林管理署の事務所は湯ヶ島財産区の方が残して欲しいと望んでいるわけではないというふうに認識しています。覚書を尊重した行動をとっていただきたいなと思います。これを残すための耐震補強の費用も相当かかるでしょう。さらには利用するとして、その運営管理はどうするのかということも考えて、湯ヶ島財産区との合意をしながら予算執行をしていただきたい。

## 報告

◆専決処分報告について（施設事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）

施設事故（六仙の里芝滑りによる事故）にかかる和解及び損害賠償の額が決定したので報告するもの。

◆平成24年度伊豆市健全化判断比率の報告について

◆平成24年度伊豆市資金不足比率の報告について

健全化判断比率及び資金不足比

率について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、監査委員の意見をつけて報告するもの。

## 条例

◆伊豆市税外収入督促等に関する条例の一部改正について

伊豆市税外収入の督促に関する延滞金の割合の特例に関する改正で、市税にない改正するもの。

◆伊豆市図書館条例の一部改正について

図書館法に基づき、図書館運営について、市民の意見を聞くための機関である図書館協議会を設置するために改正するもの。

◆駿東伊豆地区消防救急広域化協議会の設置について

消防組織法に定める広域消防運営計画を作成し、広域化を実現するため、地方自治法に基づき駿東伊豆地区消防救急広域化協議会を設置するもの。

◆指定金融機関の指定について

スルガ銀行株式会社を新たな指定金融機関として指定するため、地方自治法施行令の規定により、議会の議決を求めるもの。

指定期間は、平成26年1月1日から平成27年12月31日までの2年間。

各常任委員会の審査では

次のような質疑がありました

問 図書館協議会で図書館の抱える課題の検討を予定されているが、伊豆市立図書館の抱える課題とは、どんなものがあるのか。

答 現在、図書館の問題解決のため、図書館職員、教育委員会または、社会教育委員会にもお世話になっていますが、それだけでは解決できない部分で、外部の市民の方に意見を聞かなければわからないことがあります。例えば、月曜祝日の開館実施や、代替えの閉館日について、夜7時までの開館延長や本の選書について、特に大きな問題として各分館の統合などもあり、諮問機関が必要と考えています。

## 平成 25 年第 3 回（9 月）定例会で審議した議案

## ■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	永岡 康司	三田 忠男	小長谷 朗夫	山下 尚之	山田 元康	青木 靖	大川 明芳	梅原 正次	小長谷 順二	西島 信也	森島 吉文	杉山 誠	室野 英子	森 良雄	木村 建一
決算の認定																
平成 24 年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×
平成 24 年度伊豆市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成 24 年度伊豆市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成 24 年度伊豆市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成 24 年度伊豆市上水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成 24 年度伊豆市温泉事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	可決 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成 24 年度伊豆市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について（7 財産区）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
補正予算・その他																
平成 25 年度伊豆市一般会計補正予算（第 3 回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
駿東伊豆地区消防救急広域化協議会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
来年 4 月からの消費税増税の実施中止を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○

※1 ○ 賛成 × 反対

※2 議長（飯田正志）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

## ■全会一致で可決した議案

専決処分の報告について （施設事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）	平成 25 年度伊豆市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 回）
平成 24 年度伊豆市健全化判断比率の報告について	平成 25 年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算（第 2 回）
平成 24 年度伊豆市資金不足比率の報告について	平成 25 年度伊豆市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 回）
平成 24 年度伊豆市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成 25 年度伊豆市上水道事業会計補正予算（第 2 回）
平成 24 年度伊豆市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成 25 年度伊豆市温泉事業特別会計補正予算（第 1 回）
平成 24 年度伊豆市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	伊豆市税外収入督促等に関する条例の一部改正について
平成 24 年度伊豆市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	伊豆市立図書館条例の一部改正について
平成 25 年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 回）	指定金融機関の指定について
平成 25 年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第 2 回）	地方税財源の充実確保に関する意見書



9月定例会での一般質問は、9月6日、9日の2日間、12名の議員が34件について行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

**質問**  
**「健康マイレージ」を  
 導入しませんか**

(杉山 誠議員)

「健康マイレージ」は、検診やスポーツ活動への参加などでポイントをためて、特典を利用できる事業で、市民の検診受診率を上げ、健康づくりに励むことで医療費や介護費の抑制につながるほか、地域コミュニティや地域活性化などにつなげていくことが期待できるユニークな施策です。

当市でも取り組んではいかがでしょうか。

**長井 市答**  
**平成26年度からの  
 開始を目指します**

静岡県では、ふじのくに健康長寿プロジェクトの一環として平成24年度から開始され、現在5市町が実施しております。

今後市としては、介護予防事業の参加、ボランティア参加などメニューを検討するほか、市独自で新たな内容を考え、平成26年度からの開始を目指して検討します。

**質問**  
**疑惑の入札(官製談合)**

(森 良雄議員)

し尿処理場の入札では、企業の意向で事業の核心を公開できないと言っていますが、事業の核心とは何ですか。隠すほどの技術とはどんな設備の技術ですか。

それは、受入設備ですか。前処理設備ですか。貯留設備ですか。固液分離設備ですか。生物処理設備ですか。凝集設備ですか。高度処理設備ですか。消毒設備ですか。資源化設備ですか。

**長井 市答**  
**機密文書なので  
 情報公開は不可**

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」第8条に、企業の知的財産について提案内容が他社に知られることのないようにすることと、その取り扱いに留意することがあります。審査会が入札参加者に確認したところ、すべての企業が「自社保有の技術等が記載された機密文書の公開は困る。」とのことなので、情報不開示としました。

## 質問

## ゲリラ豪雨対策について

(小長谷 順一議員)

7月18日未明の大雨で大きな被害を受けた隣の西伊豆町では復旧に向け、社会福祉協議会が初めて設置した災害ボランティア本部は、一時混乱しましたが、経験豊富な外部スタッフの協力を受けて切り抜けたそうです。伊豆市内で大きな被害が発生した場合の取り組み等について伺います。

市長  
市答大規模災害の発生時は  
規定等に基づき対応

①災害対策本部の設置は、大雨警報が発令されると防災担当の職員が参集し情報収集や警戒に当たる体制を取っています。短時間での豪雨等にも特別警戒警報が発令されることになったので、FMイブや同報無線で市民への的確な広報に努めます。

②復旧に当たっての重機等の手配は、災害時における応急対策業務に関する協定書に基づいて速やかに対応します。

③伊豆市社会福祉協議会が、市と協議し、伊豆市災害ボランティアセンターを立上げます。

## 質問

## 地区懇談会の住民意見への対応はいかに

(三田 忠男議員)

地区懇談会での住民からの意見・要望についての取扱いについて伺います。

どのような意見要望が出されたか？具体的に市政に反映していききたい意見・来年度予算等へ反映させる等、参考になった事項があったか伺います。

市長  
市答小中高生の交通費補助  
結論を出していきたい

今回、痛感したのが子どもの交通費の負担についてです。

中学生のクラブ活動や塾通い等、通学以外のバス代の負担や、高校生の通学費負担をどうするか、これまでも検討してきましたが、小・中学生の市内の公共交通機関利用と高校生の通学費の補助等については、もう結論をしっかりと出していきたい。

市長  
教育  
答

修善寺地区で学校再編についてのご意見ご要望をいただいたので、今後の参考にさせていただきたいと考えております。

## 質問

## 市道萩原一原線について

(山田 元康議員)

伊豆市大平にビール醸造会社ベアードブルーイング社の工場建設の起工式が8月26日に執り行われました。

しかし、昨年12月定例会にて延長160m幅員7mの道路建設のお話もありましたが、未だに道路は出来ていません。

道路の進捗状況及び完成見込みはいつごろになるのか伺います。

市長  
市答大平萩原原線道路  
進捗状況・完成見込

伊豆半島の真ん中、天城山から北の伊豆半島北部のど真ん中の縦軸の中心であり、伊東との交差点になる地域は、20年後に、この地に修善寺らしい、しっかりとした観光交流地域の中心になっているようなことを描きながら進めていきたいと思っています。

市長  
部  
答

測量完成予定は6月末でしたが、8月末になってしまいましたので、9月に入札手続、10月中旬入札、そして工事着工で、来年2月完成予定としています。

質問

社会環境の変化と  
観光地づくり

(梅原 正次議員)

本年4月には海の県道223号が認定され6月には富士山世界遺産登録、来年3月には東駿河湾環状道路の開通、首都圏では圏央道の開通と伊豆市を取り巻く環境は伊豆市発足以来であり最大の誘客チャンスである。民間の取組みだけでは力不足と考えられる。民間4月には10周年を迎える伊豆市のチャンスを市長はいかにリードされるか。

市長  
市答

伊豆市発足以来の環境  
の変化に対応します

社会環境の変化は千載一遇のチャンスと思いい、市内における官民の力を合わせた取組、他方伊豆半島の7市6町が広域的に連携した取組の2階層が重要と考えています。

地域づくり協議会などで地域ごと地域に根差したまちづくりを進めたいと思います。

将来的には、伊豆半島ランドデザインの提案を具体化する作業の中で、観光交流の事業も進捗していけると考えています。

伊豆半島全体で広域化したお祭りの協力を進めたいと思います。

質問

修善寺地区の  
学校再編成の是非

(西島 信也議員)

①修善寺地区の小学校再編については、その是非及び方向性について伺います。  
②伊豆市の児童数減少は著しいものがあるなか、修善寺中を除けば、将来中学校も1学年1クラスになる可能性が大いにあります。この現実に対処するには、どのような方策が考えられるか、何を検討しなければならぬのか伺います。

市長  
教育  
市答

新たな第2次  
学校再編成計画の提示

学校再編については、平成21年1月の教育振興審議会の答申及び同年3月に策定しました学校再編計画の趣旨に基づき、修善寺地区小学校と中学校の再編成を推進してまいります。

ただし、修善寺地区の4小学校の児童数等を考えると5・6年先を見通した再編成計画を、また、中学校再編成については、仮に1校とした場合は土肥地区については、小中一貫教育も考えられます。

いずれにしても早い時期に第2次再編成計画を示します。

質問

自然災害に対する減災  
(防災) 対策について

(永岡 康司議員)

自然災害は予想外の時、予想外の規模で起こるもの。ある程度の危険性を予測して事前に対策を立てなければなりません。  
①昭和33年9月の狩野川台風豪雨災害から55年経過しました。市は今までに狩野川上流の危険度の高い箇所を調査を行ったのか。  
②危険と思われる箇所について、河川管理者と協議し対応する必要があると思います。が、伺います。

市長  
市答

県・国と連携する中で  
継続的な対策の推進

狩野川台風以降、県河川事業に加え、直轄砂防エリアとして国の砂防事業で市民は守られてまいりました。

小さな溪流までのすべての民家及び市民の人命に影響のある480カ所は、土石流危険溪流調査業務を実施し、伊豆市に提出されています。危険と思われる河川につきましては、地元要望や情報提供などにより国・県に要望してまいります。

今後も県の補助金、市の単独による改修を継続的に進めてまいります。

## 質問

## 「いじめ防止法」成立に伴う取り組みは

(小長谷 朗夫議員)

「いじめ防止法」は、大津市でいじめを受けて自殺した中学2年男子生徒の尊い命の代償として、本年6月21日に参議院で可決成立しました。伊豆市からは決して不幸な子供を出さない。最悪の事態では子供たちの命にもかかわる「いじめ」について、防止法成立のこの機に伊豆市教育委員会は、いかなる具体策を示し、実践していくのか伺います。

長弁  
教育  
教答

## いじめ体罰防止は学校・地域・保護者の連携で

伊豆市管内のいじめ体罰の実態把握については各学校からの月例報告により状況は把握し、対応しております。体罰については児童生徒の心身に深刻な悪影響を与えるとともに、教員や学校への信頼を失墜させる行為であります。いじめについては伊豆市版の学校のいじめに関する対応マニュアルを作成し、各校に配布いたしました。児童生徒の命を守るといふ点から今後さらに道徳教育や心の教育を充実し、学校・地域・保護者が連携した子育ての環境づくりを推進してまいります。

## 質問

## 防火に有効な消火器の買い替え助成について

(大川 明芳議員)

現在の住宅用消火器は、薬剤の詰替えができない構造と定められていて期限を過ぎたものは、新しいもの買い替えしなければなりません。いざというとき消火できないものは、大火をまねきます。防火の意識を高めるとともに、初期消火に最も有効な消火器の買い替えに対して助成をする制度を設けることを考えますが、市長のお考えを伺います。

長弁  
市答

## 消火器の買い替え助成制度は検討します

消火器の買い替えに市が助成すべきかどうかは躊躇するところであります。古くなった消火器については防災訓練とかの機会にできるだけ使っていただきたいと思えます。買い替えは当然、各ご家庭でお金もかかることなんです。それがやはり自分の生命と財産を守ることなんだということをもう少し先ずは啓発させていただくことが先かなという気がしております。助成制度については、ちょっと検討させていただきたいと思えます。

## 質問

## 新たな地域づくり制度への取り組みについて

(青木 靖議員)

①新たな交付金制度を伴う「地域づくり協議会」が提案されましたが、背景にある考え方を説明する必要があると思うが、どうか。  
②この取組を進めるためには、事務手続きや事業計画策定にプロの指導が必要になると考えるが、対応の準備は出来ているのか。  
③地域と行政の連携や縦割り体制を乗り越えての問題解決をどう実現していくのか。

長弁  
市答

## 村の再生です

小学校単位で昔の村のようなコミュニティを復活させます。市民が主役の行政です。本来の国民主権です。自分で考え自分で決め、自分で実行して、自分で責任をとるといふ本来の国民主権です。  
市民が主役の自治行政とはなにか、ふさわしいコミュニティとしての規模を考え、市民が主役の自治行政を考えてください。  
サポーター職員を5人程度つけ行政の中での手続きの進め方などのアドバイスをしなから、市の支援体制を構築します。

質問  
少子化対策の  
中長期政策を

(木村 建一議員)

6月議会で、「少子化対策に係る部署が連携する組織」の提案に対し、市長は「検討したい」とのことでしたが状況をお聞かせください。

2011年国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査―結婚と出産に関する全国調査」に理想とする子どもの数を持ってない理由があります。市長の所見を伺います。

市長  
市答  
政策は人口減少、少子化  
対策を念頭において

伊豆市の場合すべての政策については、人口減少問題を念頭において進めます。

子供を持たない理由は「子育てや教育にお金がかかりすぎる」からです。日本は教育費等への社会保障費が少なすぎます。

子供にお金がかかるから子供が産めないのでは問題です。医療費と通学費について、市内の通学以外の中学生のバス代とか高校生の通学費とかを考えた幅広い議論が必要と考えられています。

平成25年  
第3回臨時会

7月25日、平成25年第3回臨時会を開催し、市長から提出された専決処分報告と議案1件について、原案のとおり可決しました。

◆専決処分の報告について

交通事故に係る和解及び損害賠償の額が決定したので報告するもの。

◆平成25年度伊豆市一般会計補正予算(第2回)

伊豆市と伊豆の国の2市で進めている広域ごみ処理施設整備のための候補地選定調査業務について、87万8千円を増額し、歳入、歳出予算の総額を156億2317万8千円とするもの。また、候補地選定調査業務は平成26年度まで継続して実施を予定しているため、併せて、翌年度の債務負担行為として286万2千円をお願いするもの。

討  
論

◆平成25年度一般会計補正予算(第2回)

反対討論

● 一体全体以前の候補地選定業務委託料115万5千円というのは何だったのかなという気はどうしても拭いきれない。公募をしていくこと自体は一つの大きな評価としているが、応募条件・審査判定基準等今まで蓄積さ

平成25年度一般会計補正予算(第2回)の賛否

議決結果	木村 建一	森 良雄	室野 英子	杉山 誠	森島 吉文	西島 信也	小長谷順二	梅原 正次	大川 明芳	青木 靖	山田 元康	山下 尚之	小長谷朗夫	三田 忠男	永岡 康司
可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 ○賛成 ×反対  
※2 議長(飯田正志)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

れたものをしっかりと位置づけて、市民協働でどうあるべきかということをやるべきだと思ふ。  
基本構想を読む限りでは焼却施設規模が、本当に85トンでふさわしいのかどうか検討していたらいいと同時に焼却灰をもう一度燃して焼却灰を少なくしようという選択肢が正しいのか検討していく大きな課題ではないのか。

## 意見書

## 地方財源の充実確保に関する意見書

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方財源の充実確保が不可欠である。

よって、国においては、左記事項を表現されるよう強く求める。

## 1. 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について

(1) 地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など地方の財政需要を、地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。

(2) 特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。

(3) 財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより対応すること。

(4) 依然として厳しい地域経済を活性化させる必要があることから、地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。

(5) 地方公務員給与の引下げを前提として、平成25年度の地方交付税が削減されたが、地方の固有財源である地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは、避けること。

## 2. 地方税源の充実確保について

(1) 地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5・5」とすること。その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること。

(2) 個人住民税は、その充実確保を図るとともに、「地域社会の会費」という基本的な性格を踏まえ、政策的な税額控除を導入しないこと。

(3) 固定資産税は、市町村の基幹税目であることから、その安定的確保を図ること。特に、償却資産の根幹をなしている「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。

(4) 法人住民税は、均等割の税率を引き上げること。

(5) 自動車重量税及び自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分の仕組みを含め現行制度を堅持すること。

(6) ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在の市町村にとって貴重な税源となっていることから、現行制度を堅持すること。

(7) 地球温暖化対策において地方自治体が果たしている役割を踏まえ、地球温暖化対策譲与税を新たに創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。

## 【提出先】

内閣総理大臣、財務大臣  
総務大臣、内閣官房長官  
内閣府特命担当大臣(経済財政政策)

## 議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができます。本会議当日、本庁2階へ直接お越しください。

団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

なお、本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継により配信していますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-7219006)

## 12月定例会の予定

場 所	本庁2階 議場
時 間	午前9時30分～
11月25日(月)	議案上程
28日(木)	一般質問
29日(金)	一般質問
12月3日(火)	議案質疑
13日(金)	委員長報告・質疑・討論・採決

※変更となる場合がありますので  
ご承知ください。

## 編集後記

9月定例会議会が閉会し、昨年の選挙で当選した新人議員にとって、一年間の議会サイクル、議員活動の全てを経験したことになりました。

各人選挙公約を訴えて当選し、議員活動をしてきましたが、心新たに二年目に向いたいと思います。

市民の皆様へ議会だよりを通じて分かりやすく、丁寧に諸活動が伝わるような紙面づくりをしてきましたが、いかがでしょうか。

今後更に市民と議会をつなぐ広報誌として、皆様のご意見を取り入れて、内容の充実を図ってまいりたいと思います。忌憚のない、ご意見ご要望を賜れば幸いです。

宜しく願いたします。

編集委員 三田 忠男